

# PowerPoint作業効率化アドイン 使用説明書

堀江正輝

2021年3月15日

## 本ツールのインストール方法(アンインストール方法)

- 堀江正輝のホームページ(<http://seilpartners.jp/horie.masaki>)のDOWNLOADSセクションにて、以下のリンクをクリックしてZipをダウンロードしてください。



### POWERPOINT作業効率化アドイン

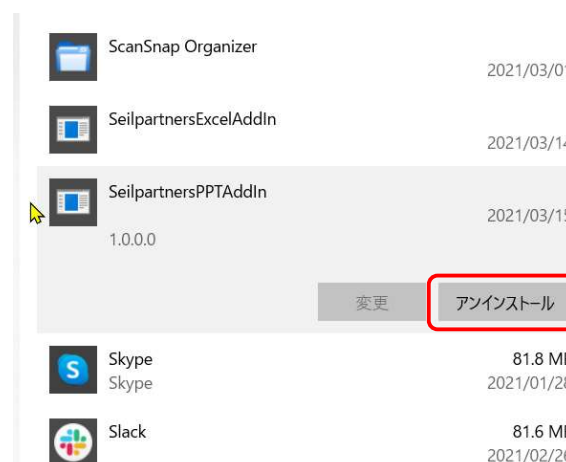
研修テキストやマニュアルなどスライド数の多いPPTを扱う場合、複数のスライドを行ったり来たりしながら編集する操作の手間を軽減するPowerPoint機能強化ツール(アドイン)です。

- 履歴機能：標準機能においては、スライド編集時の「戻る」「進む」によるスライド切替機能がありませんが、その機能を補います。
- ピン機能：頻繁に参照・編集するスライドを「ピン留め」して、特定ページを重点的に参照・変数する際の手間を軽減します。
- クイックビュー機能：カーソル近辺の参照スライド番号を自動検知し、そのサムネイルを表示します。スライド番号が正しいかを、参照先スライドに移動して確認する手間がなくなります。

ツールのダウンロードはこちら・マニュアルのダウンロードはこちら

- ダウンロードしたZipを解凍し、解凍フォルダのSetup.exeを実行してください。以上でインストールは完了です。
  - お使いのWindowsに搭載されている.NET Frameworkが、本ツールの必要とする4.7.2でない場合、ダウンロードを求められますので、その手順に従ってください。

- 【アンインストール方法】本ツールを使用を停止し削除したい場合は、スタートメニューの「アプリと機能」を開き、アプリの一覧のうち本ツールを示す「SeilpartnersPPTAddIn」の「アンインストール」を実行します(右図)。以上でアンインストールは完了します。



# 本ツールの機能と使用方法 - ①作業ウィンドウを開く

**履歴とピン**

①本ツールをインストール後、PowerPointを開くと、画面上部のリボンに「Seilpartners」タブが現れるので、そのうち「履歴とピン」のアイコンを押し込むと、右図のような履歴とピン機能の「作業ウィンドウ」が出現します。

**作業ウィンドウ**

**危機**

→ 中核事業の早期復旧ができなかった場合

- 資金繰りの悪化(財務面)
- 顧客の流出(顧客関係面)
- 社会的信用の低下(社会的要求面)

→ 中核事業の早期復旧ができた場合

- 信頼の向上
- 顧客の獲得

収益

平常時 危機発生後 復旧後

100% 危機

RTO

時間

©2021 ○○管財株式会社

# 本ツールの機能と使用方法 - ②履歴機能を使う

**中核事業の検討**

②作業ウィンドウには2つのタブがあり、「履歴」タブを選ぶと、スライドの表示履歴が5つまで表示されます。

この履歴欄に表示されたスライドをクリックすると、そのスライドにジャンプすることができます。  
離れたスライドを交互に参照しながら作業する場合等に便利に使えます。

**危機**

- 顧客の流出(顧客関係面)
- 社会的信用の低下(社会的要求面)

→ 中核事業の早期復旧ができた場合

- 信頼の向上
- 顧客の獲得

100% **危機**

RTO

復旧後

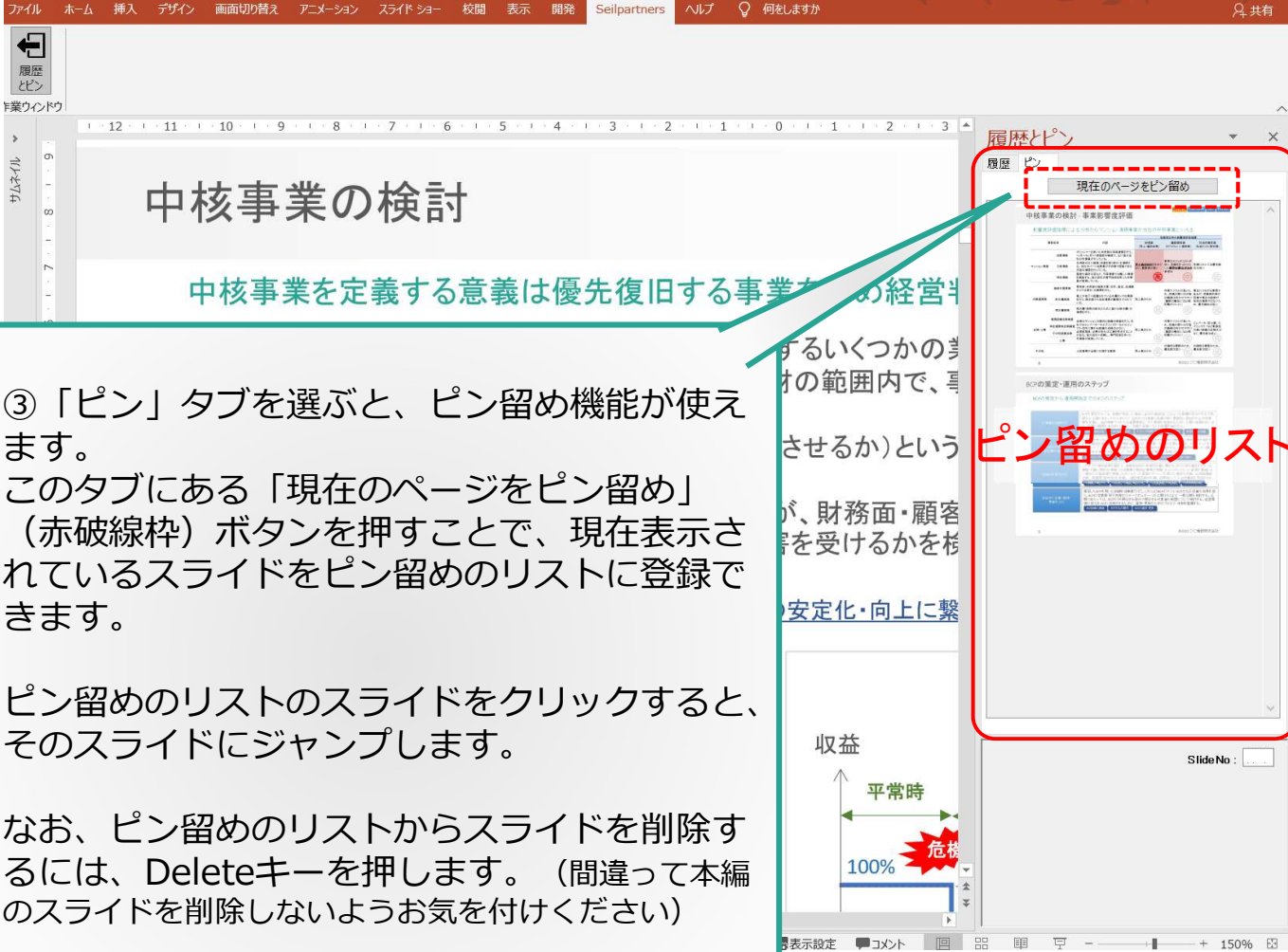
時間

スライド履歴

SlideNo:

©2021 ○○管財株式会社

## 本ツールの機能と使用方法 - ③ピン機能を使う



③「ピン」タブを選ぶと、ピン留め機能が使えます。

このタブにある「現在のページをピン留め」（赤破線枠）ボタンを押すことで、現在表示されているスライドをピン留めのリストに登録できます。

ピン留めのリストのスライドをクリックすると、そのスライドにジャンプします。

なお、ピン留めのリストからスライドを削除するには、Deleteキーを押します。（間違っても本編のスライドを削除しないようお気を付けてください）

ピン留めのリスト

## 本ツールの機能と使用方法 - ④クイックビュー機能を使う

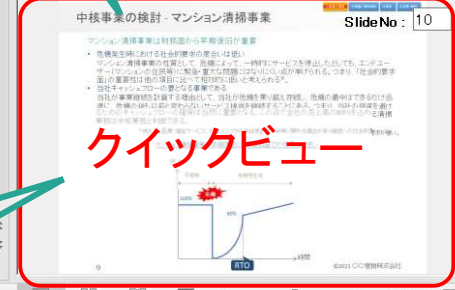
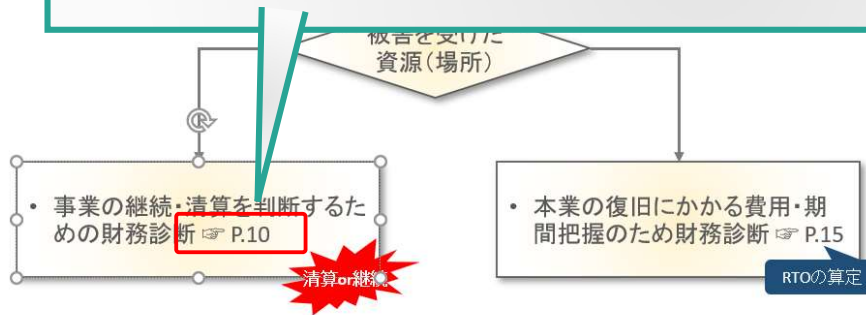
④クイックビュー機能とは、現在のスライドで選択中のテキストのスライド番号から、そのスライドのサムネイル（右下の赤枠）を表示する機能です。

(1)スライド番号の数値をカーソルで選択状態にするか、または(2)カーソルの置かれた場所から前後10文字の範囲でスライド番号を自動検知すると、右下にクイックビューされます。

(2)の自動検知の場合、接辞Xに対して、X000, X.000, 000X の文字列をスライド番号と判断します。接辞Xは スライド、Slide、ページ、Page、P、頁 に対応しています。

参照ページ番号と内容が一致しているかを手早くチェックする場合に有効です（目次のページ番号と内容の一致チェックなど）。

以下例では、スライド左下の P.10 の真ん中にカーソルを置いた場合に、10 を検知し、右下のクイックビューに内容が表示されている例となります。



スライドをダブルクリックするとジャンプできます。